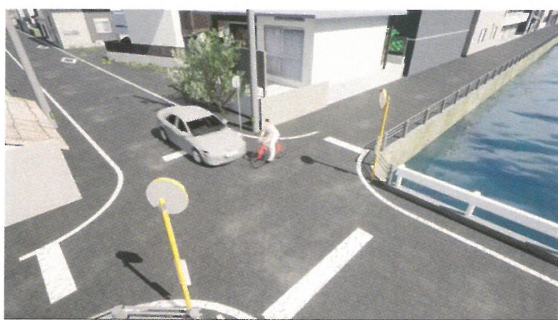


# 高精度CGによる過失割合から考える安全運転教育

高度の3Dシミュレーター技術を強みとする三咲デザイン合同会社と交通事故のプロ集団である合同会社nitroが共同し、過失割合を減らす運転態様に着目した安全運転教育用のシミュレーターを開発しました。三咲デザインの3D技術とnitroの交通賠償実務の経験が融合した実践的な安全運転教材にご期待ください。

## 3次元シミュレーターを用いた交通事故の過失割合の観点からの安全教育教材



右側走行の場合、左側走行に比べて、自動車のドライバーが見えるタイミングが遅くなります。  
→これが過失+5%加算の理由です。

左側走行

右側走行



交通事故に遭った被害者の方は「こんなにも自分に過失割合が認められてしまうのか」という点に驚かされます。怪我を負わされ入院し辛い思いをしているにもかかわらず、例えば過失割合が30%認められると、被害総額が1,000万円の場合300万円分賠償が受けられません。事業者の方も過失割合が認められた分だけ車両損害や営業損を得られず、事業に支障が生じます。

過失割合は、交通事故の当事者がいかに道路交通法やその他の法令にしたがい、どれだけ注意をすれば事故が避けられたかにより定められます。

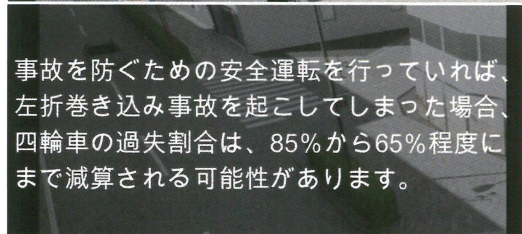
本シミュレーターは、長年交通事故賠償実務に携わってきたプロとしての経験から、具体的な交通事故の場面で、どのような点に注意をし運転をすれば、自己の過失割合を軽減できるかという視点から、高精度な3次元シミュレーターで実際の交通事故を再現することで、交通事故を起こさない安全な運転をしていただき、万が一の場合、賠償額を減らされない運転を身に付けていただくことを目的としています。

## 一般の方のみならず、生徒向けや各種運送事業者などのニーズに対応

歩行者が赤信号を無視して横断歩道を横断して車にはねられた事故、自転車が一時停止を無視して出会い頭で衝突した事故、車で左折時にバイクを巻き込んだ事故、いわゆる車とバイクの右直事故では、実際によくみられる事故の過失割合はどの程度になるのでしょうか。本シミュレーターは実際の事故態様をシミュレータープラットフォームであるSiriusによる高精度CGで再現することで、多角的な視点から事故を起こさないような運転や、事故が起きた時に少しでも過失割合を減らすための交通方法を学んでいただけます。

### 【ニーズに応じたオーダーメイドの事故態様】

- ・新学期を迎え自転車通学が始まる高校では、生徒の自転車運転に特有な事故を集め自転車通学の安全を考えていただく素材として
- ・車で通勤する従業員が多い会社では、信号の見落としなど通・退勤時に良く生じる事故態様により、従業員の通退勤時の安全運転教育にも
- ・運送事業者ではトラックで多発する歩行者や自転車の左折巻き込み事故や、タクシー事業者では客を見つけ第2車線から急に進路変更して後続車と衝突した事故など各事業者特有の事故により、従業員ドライバーの安全運転教育にも



事故を防ぐための安全運転を行ってれば、左折巻き込み事故を起こしてしまった場合、四輪車の過失割合は、85%から65%程度にまで減算される可能性があります。

速度が30[km/h]のときは、この位置で歩行者に気づくことができれば、直前で停止できます。  
(制動距離：11.3m)



<https://md-sirius.com>



<https://nitro.llc>



<https://misaki-design.co.jp>



<https://github.com/Reisim>